

市教委

図書館整備は計画できない

7月20日 学校図書館を考える会が申し入れ

越教組ニュース

越谷市教職員組合
情宣部
18.09.04(火)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

越教組は、さる7月20日に「学校図書館を考える会」の一員として、市教委に学校図書館の整備について申し入れをしました。考える会からは、文科省が出している予算措置に基づき、学校図書館を計画的な整備、特に学校司書の拡充を要望しました。それに対し、担当課は、昨年の予算要望への回答を下回る回答に終始し、この問題への市教委の誠実な対応が求められます。

「学校図書館整備5カ年計画」

第5次「学校図書館図書整備等5カ年計画」(平成29年度～33年度)にもなう地方財政措置が確定しました。

今回の措置では、小・中学校の学校図書館図書整備費・学校図書館への新聞配備費・学校司書の配置費が増加し、さらに学校司書の配置が5カ年計画に位置づけられます。

た。これにより、学校司書を計画的に配置することが可能となります。しかし、この5カ年計画は各自自治体には地方交付税として措置され、この金額がそのまま図書費・新聞配備費・学校司書配置費になるものではありません。各自自治体でこれらの経費として予算化する必要があります。大事なものは、措置され

た財源を他に回さず、きちんと図書館等の整備に使わせることです。そこで、今回越谷市学校図書館を考える会が、市教委に要望を伝える会を持つたというわけです。

- 【平成29年度～平成33年度
5か年計：約2,350億円】
- 図書整備費：約1,100億円
増加冊数分：約325億円
更新冊数分：約775億円
 - 新聞配備費：約150億円
小学校等：1校に1紙(約50億円)
中学校等：1校に2紙(約50億円)
高等学校：1校に4紙(約50億円)
 - 学校司書配置費 約1,100億円
小・中学校等の概ね1.5校に1名程度の配置

越谷市学校図書館を考える会とは？

全国組織「学校図書館を考える会全国連絡会」の越谷支部。学校図書館の充実を目的に、学校司書、地域家庭文庫、教員、大学の講師などで構成。現在の代表は、東直子さん(草加東高校主任司書)。越谷市に学校司書を配置するきっかけとなった「学校に司書を配置する請願」(2001年)を提出した団体。毎月、定期的に活動を行っている。

昨年の越教組の予算要望に対する回答

【要望】文部科学省の学校図書館整備施策に基づき、図書館に専任の学校司書を置くこと。当面、全ての学校に同一校週2日勤務を実現すること。

【回答】
●学校司書の配置・・・司書資格をもつ学校司書の安定的な確保及び勤務時間の拡充のため非常勤一般職員とし、今年度は昨年度より1名増員し、15名を雇用。週4日勤務で小中学校全45校に配置、同一校週2日勤務該当校は小学校14校、中学校1校。

●学校司書の拡充・・・調査研究の結果
①返却作業一つ取ってみても、図書の貸し出し冊数と比例して、学校司書の作業時間が不足している。
②その他、ほぼ全校で公立図書館と同様の日本十進分類法による配架、移動、廃棄、蔵書登録、学校図書館の整理、掲示物等の作成や掲示など、専門性を必要とする業務に対して効果や成果があった。
③複数校から学校司書の勤務日数を増やしてほしいと要望があった。
④今後も、学校司書の拡充を含めた配置による効果、並びに学校司書と司書教諭及び学校図書館ボランティアとの連携のあり方等についてさらに調査研究を進めていく。

市教委でも見直しを

【考える会】国の整備計画は5年ごとに見直されていますが、越谷市でも見直す作業は進んでいるのでしょうか。

【市教委】措置されている地方交付税交付金、実際どう使われているのか分かりません。市教委としては、これまで言われてきた2校に1人という基準で、23名の配置を実現しようとしています。

【考える会】前の5カ年計画では、2校に1人と比べていたのは分かりませんが、今度の計画では1・5校に1人を基準としています。それに合わせた見直しはしないのですか。

【市教委】学校司書の数の見直しはしないのですか。

の見直しは、教育振興基本計画のなかでも特に触れられていません。

【考える会】教育計画を作る際に、担当課から学校図書館の充実・整備に向け、国の動向などを踏まえ、強く働きかけをしていただきたい。

【市教委】学校司書の配置計画が出せないのは、財政的な裏付けがないからです。ここ2～3年で見直しはしないのですか。

【考える会】週2日勤務の根拠を教えてください。

【市教委】週2日が最終形ということではなく、まず第一段階と考えています。

